

公民連携のまちづくり第3回セミナー

浪江国際研究学園都市を自分事化し
自慢できるコンセプトを創る

子どもも大人も自慢できる
まちのコンセプトの作り方

2025年1月25日
浪江町

廣 常 啓 一



【質問1】

「浪江国際研究学園都市構想」って何？

【質問2】

浪江町が明るく、楽しく、持続的な未来が見える

- ・生活や産業、文化、まちの姿って何??、
- ・まちで活躍する人や団体、組織、
まちで繰り広げられる「こと」や「もの」って何???

【質問3】

浪江町の明るく、楽しく、持続的な未来を
人に語るためのコンセプトって????

- ※ 「コンセプト」とは全体を貫く「構想や概念」「基本的な考え方」「企画の骨組み」
ブランドの価値を「言語化」「共有の価値体験の場や時間を表現」したもの、
→ 『人に自慢できる表現』

「浪江国際研究学園都市構想」を自分事化し 自慢できるコンセプトを創る

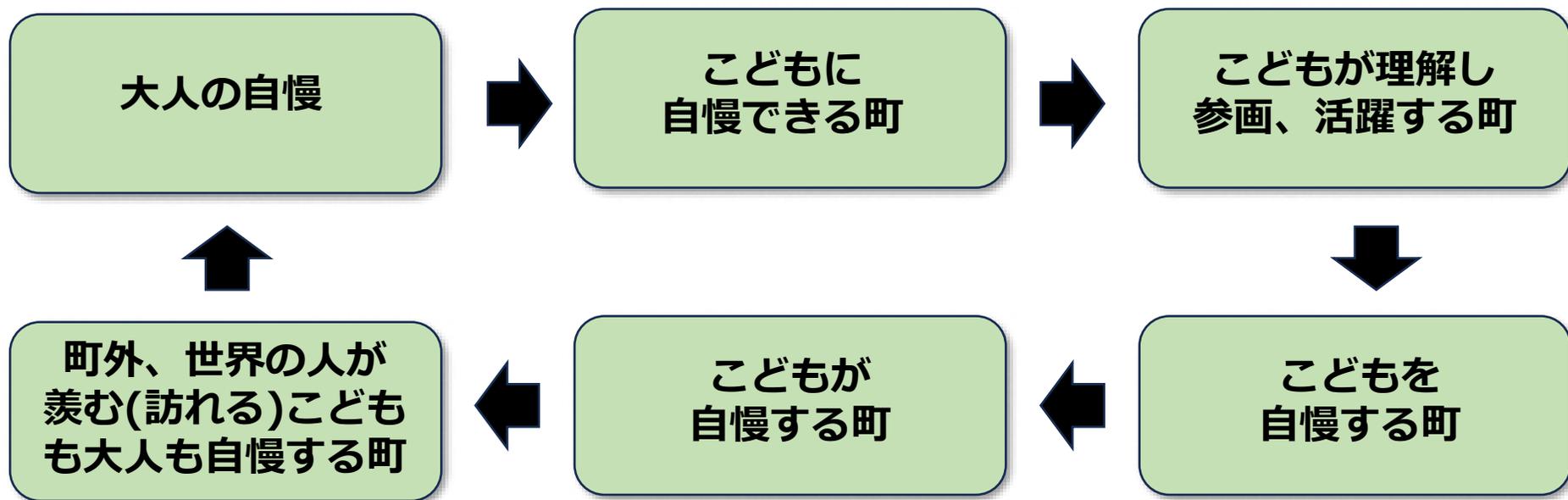
浪江町の**未来**が明るく、楽しく、そして持続的な「浪江国際研究学園都市構想」を町内外、そして世界に**自慢**するためには、誰もが「わくわく」する「**コンセプト**」に置き換えることが重要となる。

現世代の地域の新旧の住民や産業、そしてF-REIや行政が、**まちの経営資産**を活用して**未来を創るコンセプト**の創り種をまく、**次世代の人材**と一緒に種を発芽させ、育てる、刈り取り、調理し提供する、そして残りの種から、再生産、より発展させた価値に加工する**次世代へ引き継ぐ**

こうした次世代が活躍できるまちに導いた現世代が自慢できる「コンセプト」に

『子どもも大人も自慢できるまちのコンセプト』に変換

※自慢する町 ⇨ 参画(自分事化)する町 ⇨ シビックプライド



- 福島国際研究教育機構(エフレイ)が立地する浪江駅周辺整備事業に伴い「浪江国際研究学園都市構想」が策定
- この構想の中身を創り、将来の持続可能な浪江町にしていくためには、地域の住民や事業者が主体(ホスト)となることで、役場やエフレイの機能を活用し、ゲストとなる多様な主体を地域経営の仲間として呼び込めるかが重要になる。
- 仲間を集めるためには、浪江国際研究学園都市のコンセプトを皆さんと再構築することで自分事化し、多様な主体に自慢できる、そして他市と差別化できる魅力的なブランドを創ることが必要。

2025年のまちの
コンセプト

10年後のまちの
コンセプトの実現

30年後のまちの
コンセプトの成長

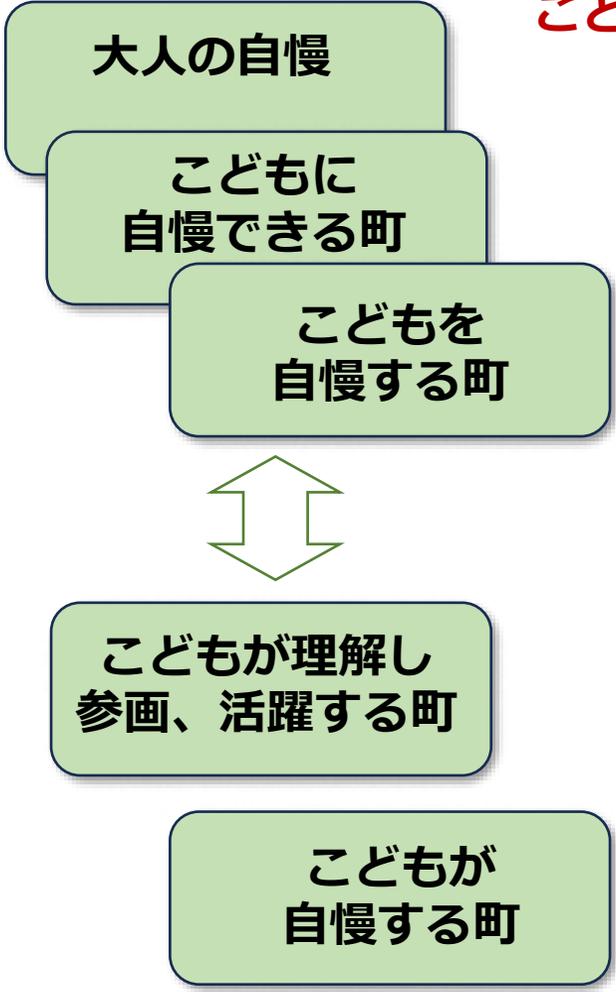
孫を持つ
高齢者の世代



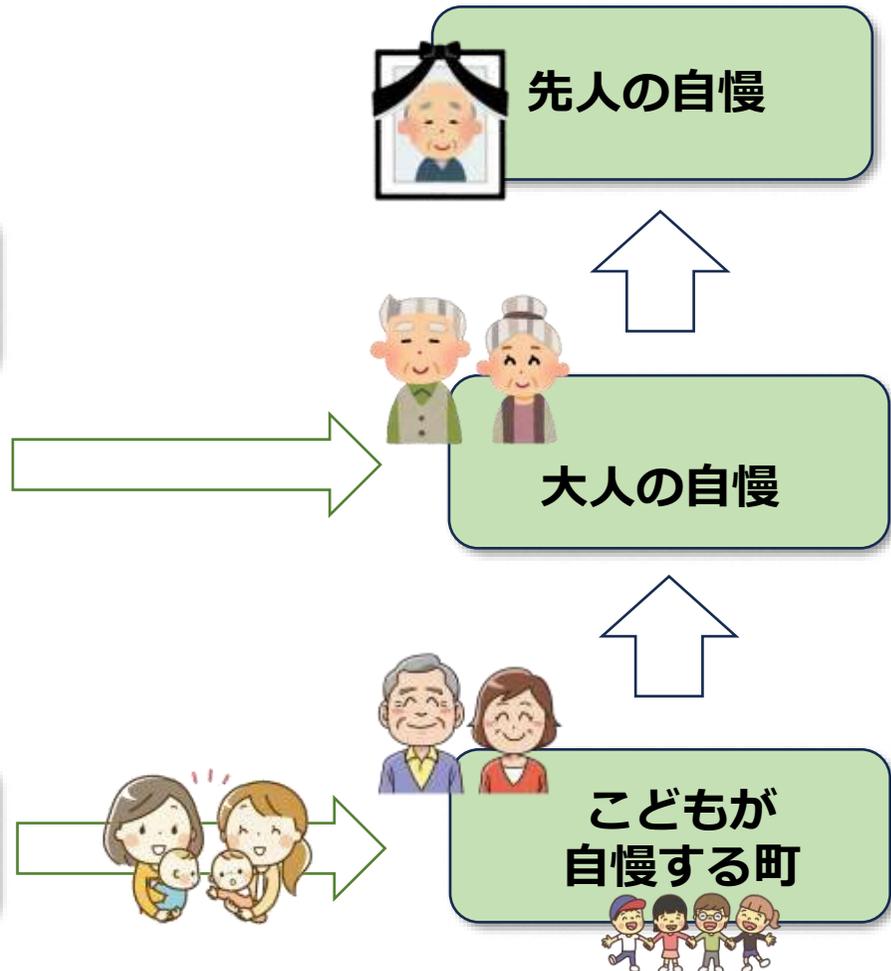
子どもを
持つ親の世代



子どもの世代



町外、世界の人々が羨む(訪れる)
こどもも大人も自慢する町





おじいちゃん腰が痛いから
私がパソコンで畑仕事するね
今日、F-REIで
教えてもらったの



わしらの時代は苦労したんだ!!
そんな新しいことは解らんから
やるつもりはない!!

孫は、東京に行って町には
戻らんし 😞



将来の地域経営を担う
子ども達が地元に戻り
自慢できる町を創る



F-REIのホームページより引用



F-REI 5つの研究分野	
1	ロボット 複合災害を想定した環境で、視野や位置情報等の課題解決で機能を実現するロボット・ドローンなどの研究開発
2	農林水産業 震災により大規模な生産性や自給を失う地域特性を考慮し、新しい生産シーズの活用など、従来の新しい次世代農林水産業に挑戦
3	エネルギー 既存の水素製造設備を活用し、カーボンニュートラルを目標として実現させて先駆的なスマートコミュニティの構築を目指す
4	放射線科学・創薬医療、放射線の産業利用 福島県独自の放射線利用の研究拠点として、放射線科学を最先端産業や創薬医療に活用する研究開発の推進を行う
5	量子力災害に関するデータや知見の蓄積・整理 福島県独自の知見から得られる様々なデータを蓄積し、活用を促進することで、今後の災害への対応に貢献するとともに、まちづくりにも貢献

- 期待感を持っても迎えられる未来を創ることを見せたい
- 地元との一体感が重要
- 日本中から、世界から研究者を集めるが、地元から研究者、研究支援者を育てたい
- 皆が住みたくなる憧れの地にすることが最終目標

**「次は、俺の店に行こう!!!」
という気持ち**

**俺の自慢の店を、
俺がホストとして
ゲストの皆さんを招待する**

**「俺の自慢するまちに
行こう!!、来てくれ!!!」
という気持ちの主体醸成**

**「俺のまちのコンセプトに共感
協力、共創者、つまり「仲間」
が集まるワクワクを創る**



自慢の研究機関を観に来るゲスト(観光客)をもてなす町のホスト達

オーストリアのリンツ市運営の先端技術、科学、メディアアート等の教育文化機関
「アルスエレクトロニカ」が主催する世界最大のメディアアートの祭典と表彰制度





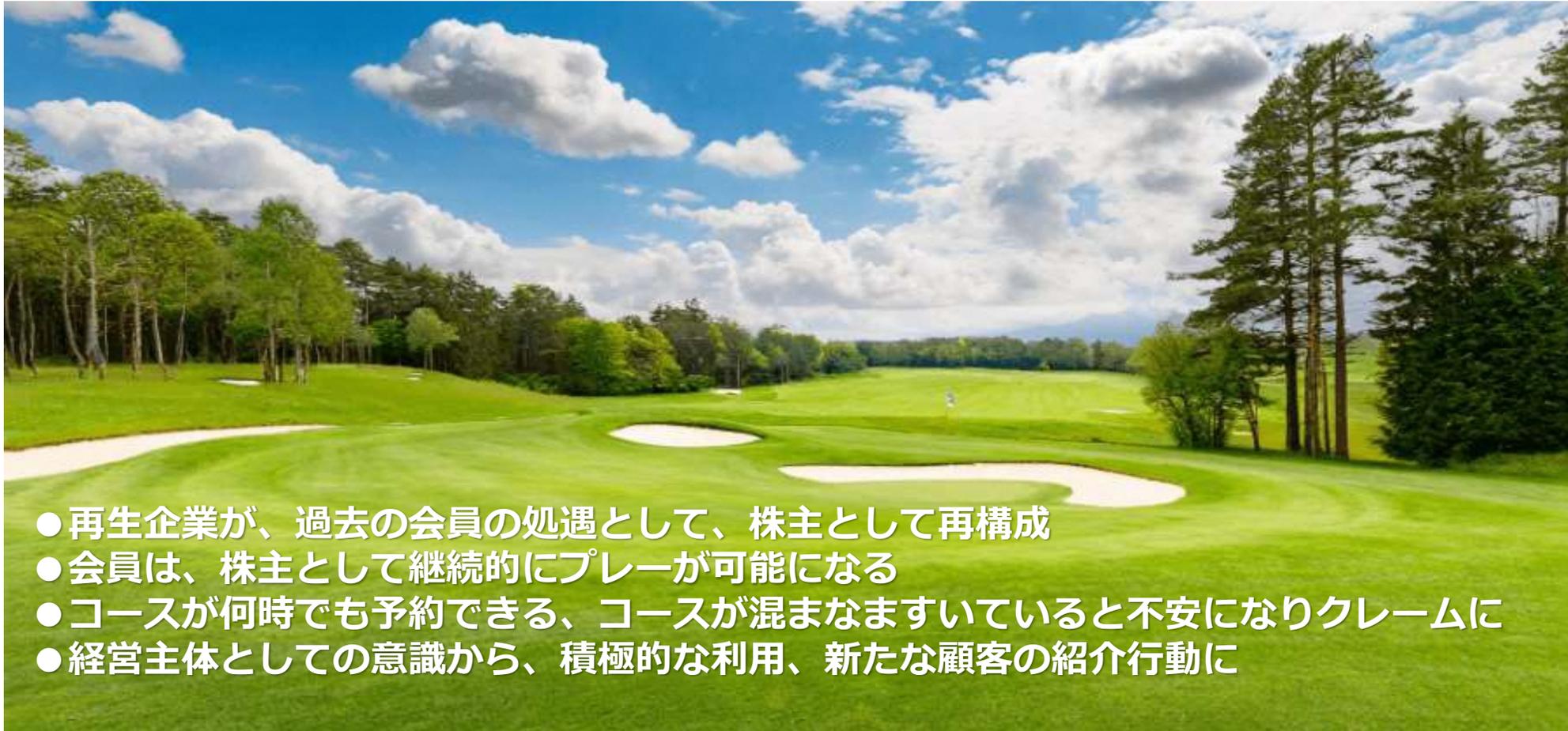
お年寄りが言った言葉

「皆様は外国からの私たちの街のアルスエレクトロニカに
来て頂いたお客様(ゲスト)です。

私たちは、お客様に座席を譲るのは当たり前のことでしょ(笑)。



- バブル期 ゴルフ会員権が高騰、投機対象にも
- 会員は、お客様として混むことの内容に人数制限
コースをとれない日があったり、コースが混み待ち時間が出るとクレームに
- バブル崩壊後 ゴルフ場が倒産、会員権は紙切れに



- 再生企業が、過去の会員の処遇として、株主として再構成
- 会員は、株主として継続的にプレーが可能になる
- コースが何時でも予約できる、コースが混まなますいと不安になりクレームに
- 経営主体としての意識から、積極的な利用、新たな顧客の紹介行動に

■ こども大学

ソーシャルコミュニケーション



■ 空想学会

■ 空想商品開発研究所



■ 混浴風呂方式



■ この指とまれPJのシナリオ

複雑なプロジェクトの組み合わせのグランドデザイン
共創の出口までのシナリオ化とバックキャスト

■ まちを培地(リビングラボ)

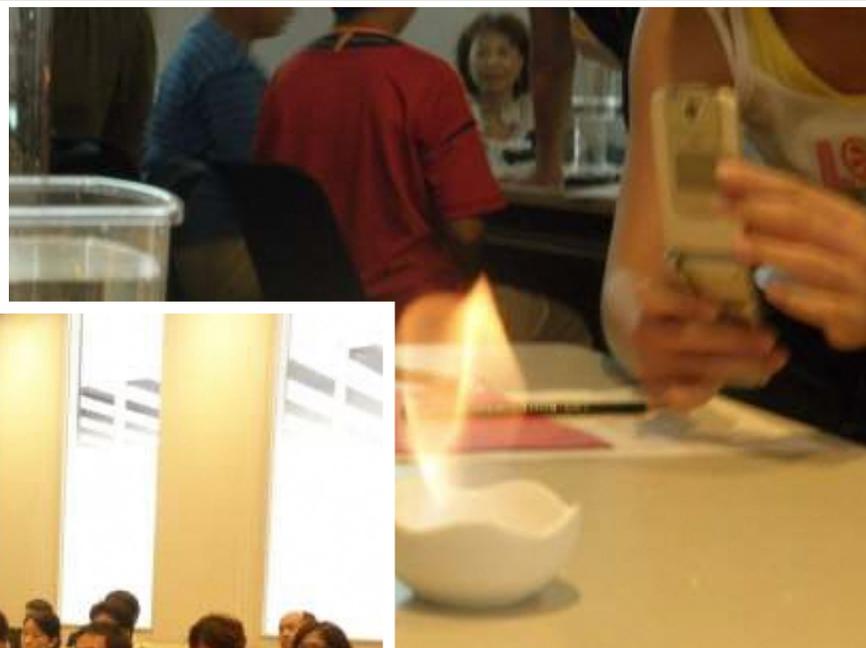
市民大学(オープンカレッジ)にたいしての子供向けの大学カリキュラムを言います。これは本物の大学、または大学の先生による子供向けの講座で、大学等の先端的な研究を子供向けに解りやすくプログラム開発したものです。

これまでの成績偏重ではなく子どもたちに様々な現代社会の今後の重要な知(ナレッジ)から生れる科学技術やアイデア、クリエイティブ力、産業などの理解を増進し「学ぶ楽しさ」を知ってもらい、自由な発想力や視野・広範囲な「生きる力」を育もうとするものです。特に創造的な大学教育を子供のころより育成するための国際的運動の一環として実施しています。



独立行政法人産業技術総合研究所メタンハイドレード教室を例に¹⁴





父兄からの質問が (笑)



国会議員にも解るように
こども大学の教材と説明方法を活用



事業仕分けにあった「メタンハイドレート研究」が復活

● 国際惑星地球年

- 主催：UDXオープンカレッジ
共催：国際惑星地球年日本(IYPE)
後援：ユネスコ、文部科学省/ 経済産業省/ 東京都/ 千代田区/ 独立行政法人国立科学博物館/
独立行政法人国立極地研究所 / 独立行政法人産業技術総合研究所/ 独立行政法人海洋研究開発機構/
財団法人深田地質研究所/他
協力：NTT都市開発株式会社 / 鹿島建設株式会社 / ダイビル株式会社 /
株式会社クロスフィールドマネジメント/ 株式会社新産業文化創出研究所



南極の氷：南極の氷からわかる地球環境
大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構
国立極地研究所



古代の氷：氷河時代の古環境とナウマンゾウの時代
独立行政法人国立科学博物館
地学研究部生命進化史研究グループ)



海底の氷：燃える氷「メタンハイドレード」に火をつけてみよう
独立行政法人産業技術総合研究所 メタンハイドレードンタ



日本動画協会との食育プロジェクト

キャラクター弁当

お弁当食育プロジェクトの一つとして
食と健康を科学し、コラボします。

- アニメ業界
- ×
- 食品業界
- ×
- 医師・栄養士
- ×
- カリスマ主婦



みんなのエネルギーフェスタ 2012

これからのエネルギーを考える3日間

エコ×音楽
文楽エネルギーを使ったライブ・コンサートでもり上げよう!

親子で楽しもう!
夏休みの自由研究ができる、こども向けワークショップ

電動アシスト自転車、電動バイク、セグウェイ...
次世代のりもの大集合!

まるでダンス! 世界初 電動バイクパフォーマンス登場!

10年後の暮らしって? エネルギーを考えた新しいライフスタイルを体感しよう。

みんなでエネルギーを学ぼう!
セミナー・ワークショップ 毎日開催!

超小型電動車両 **NISSAN New Mobility Concept** に乗ってみよう!

電気の街アキバで、これからのエネルギーとスマートコミュニティを体感しよう!

8/11-12-13 秋葉原UDX

10:00-19:00 [土][日][月] [秋葉原UDX]

2F アキバ・スクエア | 4F UDXネオ・フロンティア | UDXネオ・フロンティア/UDXネオ・フロンティア/UDXネオ・フロンティア

みんなのエネルギーフェスタ 企画 <http://min-ene.jp/>

サバンナの王者たち

特別先行試写会開催! 最新映画公開!

8/11[土]

カントでくりぬかれる、見逃したオリジナル、目からうぼの驚きのサイキック映画で、各館の企画メニューを紹介!

入場無料

みんなのエネルギーフェスタ 企画

秋葉原文化創造研究所 企画

TEL: 03-5287-8200 URL: <http://www.ica.jp/>

みんなのエネルギーフェスタ2012

未来のエネルギーがわかると、これからの暮らしがもっと豊かになる。この夏、家族で楽しみながら、新しいエネルギーと暮らしを見つけてみましょう。

セミナー・ワークショップ

4階 UDXネオ・フロンティア/UDXネオ・フロンティア/UDXネオ・フロンティア中心に、夏休みの自由研究ができる、こども向けのワークショップからおとな向けのセミナーまで、親子で楽しめる内容盛りだくさん!

ママ向け

安全安心な小型EVでママのスマートライフはこう変わる

EVのグッドデザインが話題のEV

EVのグッドデザインが話題のEV

こども向け

エネルギー、音響、音楽... 夏休みの自由研究ができる、こども向けのワークショップ

親子で楽しもう! 夏休みの自由研究ができる、こども向けワークショップ

展示 10年後のみんなの暮らし - これからのエネルギーを考えた生活イメージゾーン -

- スマートハウス、スマートコミュニティ、エコ家電の展示
- 電動バイク、電動アシスト自転車、電動アシスト自転車、セグウェイなどの展示・試乗会
- 省エネルギー省エネ家電、省エネ家電展示、省エネ家電展示、省エネ家電展示

イベント

2階アキバスクエアのミニステージでのコンサートやライブ、パフォーマンスなどさまざまなイベントで、会場を盛り上げます!

ピュアリスト 石塚可南子

ピュアリスト ミニコンサート

森の音楽会 Solar Powered

太陽の恵みを感じながら、太陽の恵みを感じながら、太陽の恵みを感じながら

みんなのエネルギーフェスタ 2012

秋葉原UDX



秋葉原をがん医療情報発信基地に!!
がんを「知る」「学ぶ」「集う」をテーマに開催!!



がん患者・家族・医療者・市民のための
最新がん医療フォーラム in 秋葉原

8月9日(土) 秋葉原UDX 4F
JR 秋葉原駅電気街口徒歩2分

同時開催 こども大学医学部サマースクール

次世代人材育成プログラム

こども大学
医学部サマースクール

出典:こども大学 ICIC



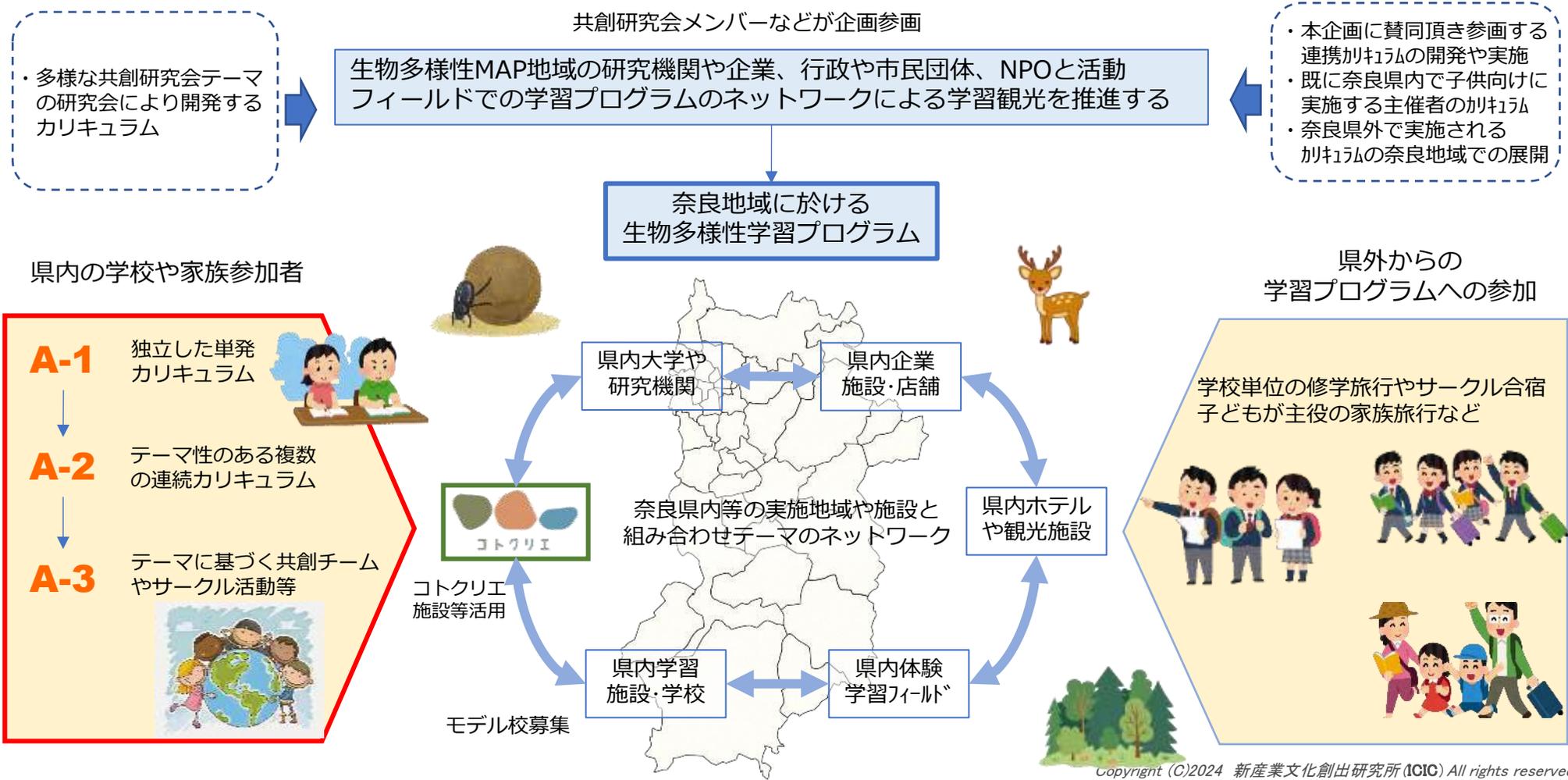
今夏、初の試みとして地域学部「ツリーハウスの森大作戦」プログラムを開催しました。

事前学習会、高知へ行く前に事前に友達になる会、高知県れいほく地域での体験学習会、事後学習会を行い、こどもたちが一連の学び、体験をできるプログラムとしました。



探求学習旅行(修学旅行)や家族旅行のプログラムとして参加できることは元より、地域の同年代の子ども達と一緒に交流、共育することで、こども達の地域ネットワークを形成する他にない生物多様性の地域学習ツーリズム。滞在中の学習カリキュラム参加にとどまらず、事前事後の共創カリキュラムにより、継続的な学習体系と同テーマに参加する全国の学校や子供たちのネットワークの拡大によるコンテストや競技、更なる共創活動の実現を目指す。

※SDGsは「誰一人取り残さない」という強い決意表明のもと、環境、社会、経済の3つの観点から課題に取り組み、地球を持続可能なものにするための国際目標。一方、ESDは、持続可能な未来を担うための教育方針で、今では世界中で取り入れられている教育。



日本で一番、共創学習活動に関わり人脈ネットワークを持つ奈良の子ども達になる仕組み⁶

奈良県内の地域や社会、地球規模の課題解決のための県内含む産学官民連携による共創学習プログラム参加者

県内の学校や家族参加者がハブとなり地域ネットワークを形成

県外からの学習プログラムへの参加
修学旅行、家族旅行

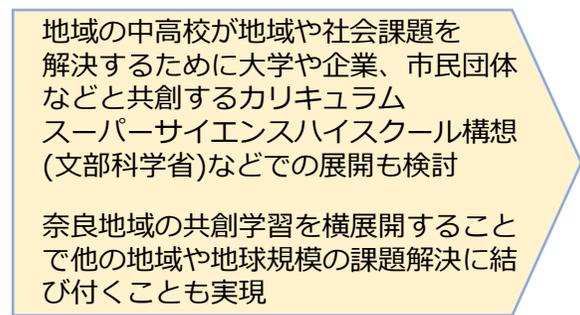


出前授業や地域学習等

企業や大学、奈良の地域学習カリキュラムを他地域へ横展開
科学館などのコンテンツとしても全国に供給

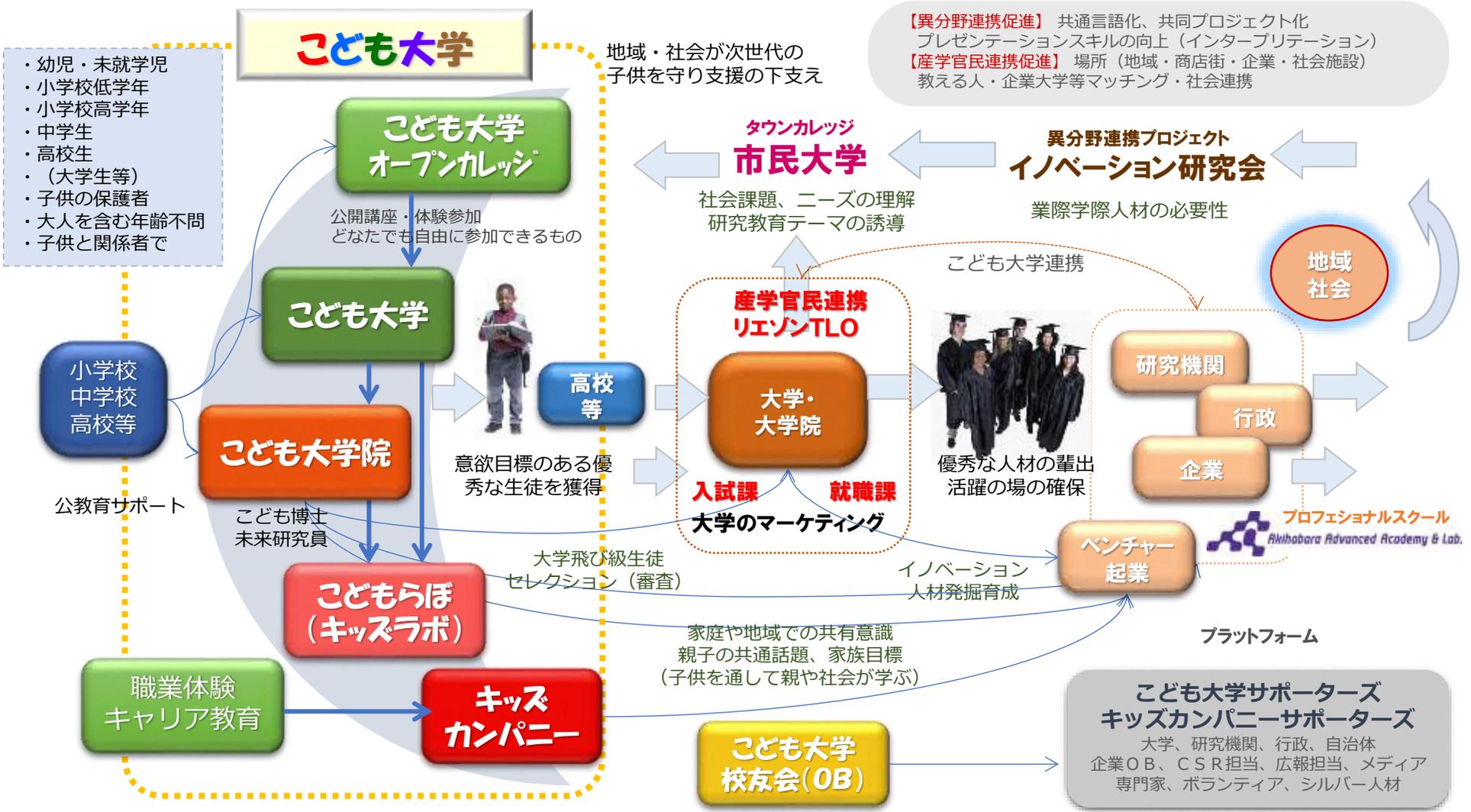


成長と共に共創する各地の学校や人財とのネットワークが拡充





こども大学院からキッズカンパニーと飛び級制度まで



- 【調査・研究】** 親子イメージ調査
こども職業・就職意識調査 (ランキング)
- 【こども人材バンク】** 登録、派遣、紹介、事業化
- 【指導者】** インタープリター育成、派遣
- 【プログラム】** 教材、コンテンツ開発
- 【プログラム普及】** 配給配信流通、メディア、EL
- 【科学コミュニケーション】** アウトリーチ、対話型ワークショップ
- 【CSR】** コーポレートコミュニケーション、販売促進、広告
- 【社会・地域貢献】** メセナ、フィナンソロピー、福利厚生

※エフレイの社会共創機能(事業)として提案

社会や地域の課題解決策となる研究開発やオープンイノベーションとしての学際連携や産学連携、企業連携、地域連携、地域実装、科学技術コミュニケーションを含む市民対話や啓発事業、地域人材育成、リビングラボの推進

※浪江国際研究学園都市のリビングラボ機能

エフレイの教育研究や社会共創機能に対して、地域や生活の場も研究や実装、人材や事業創出のフィールドとして地域の課題や生活者のななみを解決するリビングラボを地域の住民や地域の事業者と一緒に創り上げていく。

※多様な主体とは、

帰還者、移住者、就労や勉強での通学通勤者、買物や観光、仕事などの訪問交流者、研究機関や企業、地域店舗等事業者、関係人口

※「こども大学」とは、

共創のために「こども」に役割を担ってもらうICICの進めてきた企画の一つ。

共創に必要な対話交流、理解増進、連携協業に重要なのは、ワクワクを創る共通言語が必要で、科学技術コミュニケーションやソーシャルコミュニケーションの基本は「こどもが解ること」、つまり多様なセクターや多様な人種、文化、価値観を持つ人の共通言語となります。

エフレイなどの高等研究機関との産学連携、地域実装のための対話と交流のための共通言語に活用できるはず。こどもに理解してもらえない言語は、異分野、異文化、違うセクターの人にも言葉が伝わりません。